



ゴロスケ報々



コサギ

イラスト：森の絵本づくりの会 鈴木

友の会行事のお知らせ

●初めてのバードウォッチング●

2月23日（日）9：15～14：30

初心者対象の「初めてのバードウォッチング」を開催します。あまり森の中を歩いたことのない会員の皆さん、野鳥を観察しながら冬の森を感じてみませんか。

申し込みは1月から、先着順（会員・一般合わせて定員30名） kansatunomori@gmail.com

鳥のくらし発見隊

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●区民祭りに参加しました●

今年も金沢区と栄区の区民祭りに参加し、観察の森のブースを出展しました。

金沢まつりいきいきフェスタ

10月20日(日) 海の公園「横浜つながりの森」コーナー

参加者：佐々木、上原、水上、秋元

栄区民まつり

11月2日(土) 本郷中学校校庭「栄区の森や自然の魅力PRゾーン」

参加者：中里、岩崎、関根、秋元、大久保R、今村

両日ともまずまずのお天気で、多くの来場者の皆様に観察の森や友の会の活動を紹介出来ました。

また、森のクイズコーナーも大好評で、正解者へのプレゼントに子供たちは大喜びでした。

参加者の皆様お疲れ様でした。



鳥のくらし発見隊 今村

●11月定例会報告●

事務局からのお知らせ

日時 2019年11月17日(日) 9:00~10:50

出席者 青木、今村、大浦(議長)、落合、小島、篠原、関根(書記)、高橋、高柳、中里、星隈、山口
吉田、渡部、掛下R、尾崎R

議題

1. 行事報告

9月下旬から11月上旬の行事報告、活動報告を行いました。10月13日の「みんなでバードウォッチング」は、台風の影響による観察センター臨時休館のため中止になりました。他は計画通りに行われました。

2. 行事予定

12月中旬から2月中旬までの行事予定の確認とごろすけ館の利用調整を行いました。

3. 事務局より

・区民まつりに参加しました。(本ゴロ報の上記活動報告参照ください。)

・「秋の森まるごと体験」(10月20日)を実施しました。参加20名(1名入会)

※「秋の森まるごと体験」の名称を変更する話が出ています。理由は、本イベントの主目的である新規会員増加に対して、参加者の年齢層が低いことの原因がイベント名称にもあるのではないかと考えられるためです。良い案がありましたら事務局までお寄せください。

4. センターより

「観察センターだより」のページをご覧ください。

次回定例会は、1月19日(日)9:00~ 観察センター研修室

定例会には会員はどなたでも参加できます。

同日11:00~ 理事会も予定されています。

●11月理事会報告●

日時 2019年11月17日(日) 11:00~12:00

出席者 青木、今村、大浦、落合、星隈(小島代理)、関根、中里、中塚、山口、吉田、掛下R、尾崎R、(欠席:秋元、漆原、西山、村松)

議題

1 中間報告

- ・事業の中間報告(台風臨時休館を除き計画通り実施。会計は定例会で報告・連絡済)がありました。

2 長期目標・中期計画

- ・評価、課題、会員数動向、方向性(下記)、長期目標(例)(下記)を確認しました。
方向性 : 担い手の確保や活動の持続性が会員間で強く意識されていることから、良好な自然環境や関わり方・技術を次世代へ「つなぐ」視点や、市民・参加者・会員・関係者がより一層強く「つながる」ことが求められている。
長期目標(例):「未来へつなぎ、みんながつながる、生き物のにぎわいのある森」
 - ・生物多様性を育む豊かな自然環境と、森への思いや関りを次世代へつなぎます。
 - ・多くの人々が豊かな自然環境につながり、お互いにつながるようにします。

次回までに長期目標文案と中期計画の要素(3ヶ年の取り組みの方針や手法など。「〇〇の活用」「〇〇の運営」など)をご提案願います。

(ご意見は、手紙、メール、各理事への伝言等の方法でお願いします。)

3 次年度事業方針

- ・2020年度の主要日程(総会、まるごと体験、望年会)を検討・確認しました。

4 利用推進会議(後期)

- ・3月7日(土)13:00~15:00開催予定と議題を確認しました。

5 安全管理

- ・次年度講習会のテーマ、台風等被害以外に事故等報告なしを確認しました。

6 その他

- ・指定管理候補者決定、郵便口座振替通知の有料化に伴うWeb閲覧への移行、などを確認しました。

<次回理事会>

日時 1月19日(日)11:00(定例会終了次第、早めに開始)~

場所 自然観察センター研修室

議題 長期目標・中期計画、次年度計画、定期総会準備、利用推進会議、安全管理、その他

以上

赤潮、青潮、そしてアオコ

前回このコーナーを私が担当した時、最後に「赤潮とか青潮って・・・」と書きました。今回はその辺のところをとっかかりにしてお話しを始めたいと思います。さて、赤潮、青潮を教科書的に解説すれば、以下ようになります。

赤潮

プランクトン（渦鞭毛藻類等）が異常に増殖し、水の色が著しく変わる現象で、赤褐色、茶褐色などの色を呈す状態です。

青潮

大量発生したプランクトンの死骸などが沈降、底泥として堆積し、それが細菌類などによって無機物まで分解される過程で酸素が消費され、貧酸素水塊が形成されます。貧酸素環境下では底質中の硫黄化合物の還元が促進され、硫化水素の蓄積が進みます。このような水が風などによって表層まで湧き上がると、含まれていた硫化水素が酸素と反応して硫黄のコロイド（極微細な粒子）が大量に生成し、青白く見える現象です。

以上のように、赤潮は大量発生した生物自体の色であるのに対し、青潮は硫黄化合物の色に由来します。つまり、似たような言葉であってもその性質はだいぶ違います。どちらも主に海洋で起こるイメージが強く、特に青潮は湖沼など淡水で問題になった例はないと思います。一方、赤潮は湖沼などで淡水赤潮が生じますし、皆さんもアオコという言葉をお聞きになったことがあると思いますが、これは湖沼で植物プランクトン（藍藻類等）が大量発生し水面に集まり青緑色の粉をまいたように見える状態です。赤潮もアオコも見た目の色で違った言い方をするわけですが、基本的には単一もしくはごく少数の種の生物が大量発生した状態のことです。よく、赤潮やアオコは背景としては窒素、リンの流入負荷増加に伴う水域の富栄養化が原因と言われますが、必ずしもそうではなく、淡水赤潮は富栄養化していない湖沼でも見られることがあります。

これまで水環境における赤潮やアオコのような単一生物の大量発生は、富栄養化で説明され、水環境へのリン、窒素の負荷を下げることに注力されてきました。しかし、それだけでは赤潮やアオコを制御できず、最近では地球温暖化による水温の上昇、競合するプランクトンの減少や捕食生物の消失（生物多様性の減少とも言えるかもしれませんね。）などが複雑に関係しているという指摘がされています。そのため、水生植物帯の再生による水辺環境の回復、外来種を含む特定の生物（主に魚ですが）の人為的な制御といった取り組みを通じて生物多様性の回復、保全が図られ、赤潮やアオコ対策に一定の成果があることが確認されています。何となく今自然観察の森で話題の中心となっている生物多様性に結び付きましたね。めでたし、めでたし。あっそう言えば、赤潮やアオコの何が問題なのかのについて触れませんでしたね。それは、またの機会に。

By Minoru Aoki
(友の会 理事)

●いつでもどこでも身近な自然案内人講座 報告●

開催日：11月2日（土）、3日（日）

一般参加：7名、会員参加：5名、スタッフ：4名

担当：森の案内人ハンミョウの会

本講座では、自然案内の基礎を学び、プログラムを考え、ガイドの実践までを2日間で行います。初日は、自然からのメッセージを受けとる練習。スタッフのガイドウォークを体験し、そのねらいについて話し合いました。

二日目は、自然からのメッセージを伝える練習。ガイドプログラムを作成し、実践してもらいました。

受講者からは「生き物には詳しくないが、友人を誘って簡単なガイドから始めてみたい」「自然案内だけでなく、情報を伝える方法を学べた」という声をいただきました。この講座のねらいも、しっかりと受け取ってもらえたようです。

森の案内人ハンミョウの会 西山

定例行事の報告

●秋のまるごと体験 報告●

10月20日（日）秋晴れのもと、「秋の森まるごと体験」を実施しました。昨年は友の会30周年記念の行事があったため、2年ぶりの開催です。定員30名のところ34名の申し込みがありましたが、当日までに欠席連絡が相次ぎ、結果的には20名の参加となりました。小さなお子さん連れの5つのご家族、個人で参加の大人お2人の参加でした。

研修室で観察の森と友の会の概要説明の後いよいよ野外へ。初めは全員で畑の収穫です。小さなお子さんの参加が多かったため、お父さん、お母さんの力を借りて収穫体験です。子どもたちの明るい声が響いていました。

その後、3つのグループに分かれ、各PJのミニ体験です。絵本は読み聞かせ、鳥くらはバードウォッチングのミニ体験、ハンミョウは自然解説、遊ぼうは葉っぱ遊び、カワセミFCと定点カメラは展示中の写真解説。昼休みにはZFCのコースター作りと楽しんでいただきました。最後にお土産の畑の収穫物を参加者全員で分けて無事終了しました。嬉しいことに参加者の1名が入会されました。

アンケートでは「観察の森と友の会のことがよく理解できた」、「いろいろな体験ができてとても楽しかった」、「子供が大きくなり手が空いたら、ぜひボランティア活動に参加したい」などの感想が寄せられました。

事務局 中里

定例行事の報告

●森の絵本づくりの会 活動報告●

絵本づくりの会では定例行事“森の絵本を楽しもう”を毎月第3水曜日の10:30から12:00まで開催しています。主に手作り絵本の読み聞かせと簡単手作り絵本を作ります。始めたころは研修にみえたレンジャーの方たちに読み聞かせをしたこともありましたが、最近では森のイベントに参加の親子やブログを見たという親子などが参加されました。

今年度は3回ほど見学の方がありました。そのなかのお一人の方は栄区の広報誌を見て来てくださいました。現在制作中の絵本の各ページの文章を決める話し合いを見学してもらいました。絵本を作ることを魔法のように感じたようです。

感動してくださったのか敷居が高いと思われたのか…？

読み聞かせは毎年秋の森まるごと体験でも行っています。時間がありましたら皆さまも参加してください。

森の絵本づくりの会 志釜じゅんこう

友の会行事のお知らせ

●森の作業体験(間伐・木工を楽しもう)●

日時及び場所：2月15日(土) 10:00~14:00 横浜自然観察の森 炭小屋

対象：小学生以上30名(申込順) 小学生は保護者同伴

服装と持ち物：汚れてもいい服装(長袖長ズボン)、スニーカー・帽子・軍手

汗ふき用タオル・昼食・飲物

申込：1月5日(日)~2月7日(金) 下記のFAXかメールでお送りください。

「森の作業体験参加」、参加者全員のお名前(子供さんは年齢)、

連絡先電話かFAX番号またはメールアドレスをご記入下さい。

FAX：045-894-8892(自然観察センター)

メール：kansatsunomori@gmail.com

間伐体験の他、木工体験(コースター作りなど)や火起こしも体験できます。

雨天：前日夜の天気予報で降水確率が50%以上の場合は原則中止です。

担当：雑木林ファンクラブ

【報告】第4回 保全管理フォローアップの会 (11/9 (土) 13~15時)

○参加者：友の会8名（池澤正秀さん、大西誠治さん、落合道夫さん、片岡章さん、小島正彦さん、篠原由紀子さん、藤原功さん、渡部克哉さん）、みどりアップ推進課1名(山野崇さん)、レンジャー2名（掛下尚一郎、中沢一将）

○内容：この秋に発生した災害の痕を見て回りました。9月3日の大雨(時間雨量100mm(上郷消防出張所)、台風15号、19号と、自然観察の森は立て続けに被害にあいました。その様子を見に、コナラの道を中心に歩きました。強風と大雨によって立ったまま根元から横滑りしたエノキ。15号で東に傾いて倒れ掛かったカラスザンショウが19号で反対の風に煽られ西向きに倒れ尾根道を塞いだ現場。表層の地滑りが起きた斜面など、とてつもないエネルギーが働いた様子を目の当たりにしました。



表土が薄くその下は根も潜りこめないような硬い層がこのあたりの土地の特徴であることがよく解りました。被害にあった多くが一抱えもあるような幹回りの大木で、切り株を見るとどれも樹齢30~40年くらいと観察の森と共に育った木だったことに驚きました。大きく生長し樹冠が重くなったところで風に振られて倒れてしまった木が多かったようです。

【お知らせ】保全管理フォローアップの会 第5回予定

★次回 1/11 (土) 13~15時

○内容：ピクニック広場のクズ掘り 集合：研修室

持ち物：汚れてもよい服装、帽子、軍手、飲み物

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下 (kakesita@wbsj.org) か中沢 (nakazawa-k@wbsj.org) までご連絡ください。

【予告】1月~3月は、「鳥からはじめる森とのつながり」期間です

自然観察センターでは1月・3月に2回のイベント「バードウォッチング Cafe」を予定しています。さらに、友の会行事「みんなでバードウォッチング」「森ポラ2月」「初めてのバードウォッチング」と合わせて、鳥をテーマに3月まで「鳥からはじめる森とのつながり期間」として、盛り上げていきます。鳥が好きな方、観察を始めてみたい方、森で活動する仲間をつくりたい方、注目のシーズンです。鳥を切り口に、自分に合った森との関わり方を見つけてみませんか。センター企画展で「鳥のくちばしと食べもの」展も開催中です！



【募集】森の生きもの講演会「知りたい！モグラのくらす世界」

今年度の森の生きもの講演会はモグラ！「モグラ博士」であり、「モグラハンター」である川田伸一郎氏（国立科学博物館）を講師に講演と実習を行います。標本を見たり、モグラわなの設置実演など（捕まったらラッキー）を行ったりする予定です。

- ・モグラって日の光に当たると死んじゃうってほんとう？
 - ・え！モグラって1種類じゃないの？日本以外にもいるの？
 - ・この森はモグラにとってどんな場所？ などなど
- ひとつでも気になることがあったらぜひお話を聞きたいです。



開催日時や申込み方法はゴロ報裏表紙のイベント予定をご覧ください。

【お知らせ】調査報告 24 を発行

森での1年間の調査記録などをまとめた「横浜自然観察の森調査報告 24」が完成しました。今年度は12月まで発行が遅れてしまいましたが、おかげさまで昨年に続き約190ページもの大作になりました。鳥や植物はもちろん、今回は菌類の報告もあります。ご協力いただきありがとうございました。各プロジェクトに1部ずつお渡しするほか、観察の森HPでもPDF版を公開予定です。ご覧ください。

【お知らせ】台風の影響その後

森に大きな被害をもたらした15号に続き、19号が通過しました。幸いこの台風による大きな倒木や土砂崩れは発生しませんでした。現在、園内の通行止めはすべて解除されました。円海山ハイキングコースも、港南台方面、金沢自然公園方面などがほぼ復旧しました。一方で、鎌倉方面は通行止めが継続しており再開は来年6月以降になる見込みとのことです。（12月4日時点）。

【お知らせ】栄区なう！TV に出演しました

地域情報番組「栄区なう！TV」の11月14日放送番組にレンジャーの奴賀・大久保・中沢が出演しました。区長、リポーターとともにいたち川の水質と水生生物の調査の様子を紹介しました。YOUTUBEで過去の放送が配信されています。（ちなみに、3月21日放送分では大久保による、いたち川野鳥観察の様子が紹介されています。）年末年始のお時間にも、ゆるりとお覧になってください。

ホランシアさん ** 10/1~11/30 ** ありがとう

- 10/1~ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供
- 10/1~ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 10/16 雑木林ファンクラブのみなさま 台風による倒木、枝折れの処理へのご協力
- 10/30 雑木林ファンクラブのみなさま 外来種セイタカアワダチソウの除去のご協力
- 10/31、11/4 中里幹久さん 栄区民まつりのセンター資材搬入出のご協力
- 11/1 水上重人さん CSR活動受け入れへのご協力
- 11/1~ カワセミファンクラブのみなさま 企画展への写真と観察情報のご提供
- 11/1~ 鳥の暮らし発見隊 上原明子さん 企画展への写真と観察情報のご提供
- 11/10 鳥の暮らし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供
- 11/20 雑木林ファンクラブのみなさま ストープ用薪のご提供



横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>



★年末年始のお休み：2019年12月28日（土）～2020年1月4日（土）

みなさま良い年末年始をおすごしください。



行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●望年会

12/22(日) 9:00～

対象：友の会会員とその家族

会場：ごろすけ館前

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会活動内容紹介と森のルールを～

2/16(日) 9:30～14:00 雨天決行

受付：直接、自然観察センター研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

●自然観察センター主催行事●

■冬のバードウォッチング Cafe

日時：1月16日(木) 10:00～14:30

対象：中学生以上30名(抽選)

参加費：無料

申込：下記参照

締切：1月6日(月)

■森の生きもの講演会

「知りたい!モグラのくらす世界」

日時：1月26日(日) 10:00～15:00

対象：中学生以上 30名(抽選)

参加費：無料

申込：下記参照

締切：1月14日(火)

<申込方法>

下記を明記の上、自然観察センターへ、メール・FAXで申込。

①行事名

②参加者全員の名前・ふりがな

③電話番号

④FAX番号

⑤情報源「ゴロ報を見て」

⑥落選時にキャンセル待ちを希望するか

<申込先>

FAX: 045-894-8892

Eメール: yokohama-nc@wbsj.org

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

1/12(日)・2/2(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付: 30分前から 自然観察センター前にて

対象: どなたでも

担当: 森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

1/12(日)・2/9(日)

9:00～13:00 少雨決行

受付: 自然観察センター前にて 対象: どなたでも

担当: 鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

1/15(水)・2/19(水)

10:30～12:00 絵本製作

受付: ボランティアルーム 対象: どなたでも

担当: 森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

1/18(土)・2/15(土)

10:00～12:00 雨天中止

受付: 自然観察センター前にて 対象: どなたでも

担当: 畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

1/25(土)・2/22(土)

13:30～14:30

(※2019年度も1日1回の開催になります。)

受付: 30分前から 自然観察センター前にて

対象: 子どもから大人までどなたでも

担当: 自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2019年12月15日

発行 横浜自然観察の森友の会

FAX 045-894-8892

E-mail: kansatsunomori@gmail.com